

ESPERANZA

三田西陵高校 24 回生 2016.5.2 発行 No. 2

24 回生の入学後初めてで最も大きな行事であるオリエンテーション合宿が、多くの人々のご協力で成功のうちに終了しました。生徒諸君が西陵生として成長しようとする姿が伺える 3 日間、学校ホームページをご覧になった方からも高い評価を頂きました。この体験を通して、一人一人が、また 1 学年全体が今後の 3 年間、そして長い生涯を生き抜く力を付け、逞しく前進することを期待しています。学年通信第 2 号では、その足跡を辿ります。



真剣に学習する表情

職員より

オリエンテーション合宿で見えた成長

学年プラス 西村俊紀

24 回生として初めての集団活動。入学して間もなく、お互い探り探りだったと思いますが、飯盒すいさんで友達と協力したり、ハイキングやクラス対抗の集団行動など様々な活動の中で、友達との新たな繋がりやクラスとしてのまとまりができたように感じました。特に校歌コンクールで各クラス一生懸命歌う姿はとても輝いてました。これからクラスの「色」がどんどん出てくるだろうなと楽しみに思っています。また、あいさつの習慣や時間厳守の意識が付き始めた 2 泊 3 日だったと思います。

集団規律を遵守しつつ、友達と励ましあい、これからの高校生活を充実して過ごしていただきたいと思います。

生徒諸君の感想

1 組 「時間の大切さを知った」

だんだんと高校生活にも慣れてきた私たち 24 回生は、先日行われたオリ合宿で時間を守る大切さを学びました。私自身、

時間に遅れたという経験があまりないため、集合時間に遅れない自信がありました。でも、オリ合宿が始まってすぐに集合時間に全員がそろわないという残念なことがありました。私は、そのときあることに気づきました。全員が 5 分前にそろうためには、全員が時間を守るということを意識しないといけないということです。また、一人でも時間に遅れると他の人に迷惑がかかります。そのためにも、全員が時間を気にかけて行動し、気づいていない人がいれば声をかけてあげることが必要だと思います。立派な大人になるための第一歩として時間を守ることをこれからも頑張りたいです。

2 組 「校歌コンクールで学んだこと」

オリエンテーション合宿の目的の一つである西陵高校の校歌の合唱。最終日の校歌コンクールではなんと、最優秀賞を 1 年 2 組でとることができました。合唱はクラスのみならず、最初に取り組んだものなので、クラスの団結力が高まった気がして嬉しかったです。賞をとったことはもちろんいい事だけど、何よりも LHR でクラスのみならず練習した時間が大切だと思います。一人ひとり自分が出すことのできる精一杯の歌声を響かせることができている、いいクラスだなと思いました。しかし、雑談をしてしまったり、メリハリがない行動もあったので、いい所は活かし、反省しなければいけない点は直していき、もっともったいいクラスにしていきたいと思いました。

これから 3 年間、誇りを持って西陵高校の校歌を歌っていきたいです。

3 組 「係として人の役に立つこと」

私は食事係でした。工夫したことは、必ず 10 分前には、食堂に行きすぐ準備できることを守りました。そうすると早く食事の準備ができたのでよかったです。

難しかったことは、ご飯や味噌汁などを均等に分けたりお皿を取りやすい所に置いたりすることです。達成感があつたのは、朝ごはんのおかずをきれいに並べられたことで、その一日が気持ちよく過ごせたことです。

人の役に立つこと、奉仕の精神を身に付ける大切さと喜びを学んだ 3 日間でした。



各班力作の味比べ

4 組 「野外活動の楽しさを分かち合えた」

カレー作りでは、班の中でしっかり仕事分担できていて思っていたよりもスムーズにカレーを作ることができました。途中、火が消えかけて焦ったり、ほかの班よりも野菜の皮をむいたり、切ったりするのが遅くてあわてたりして大変だったけど、班のメンバーと協力して作ることができて楽しかったです。

ハイキングでは、中学でもしたことがあって、坂がきつくてつらいのを分かっていたけど、がんばって登りました。野外活動、すごく楽しかったです。

5 組 「3 日間で学んだことを今後どう生かすか」

今回の合宿は、自分で行動すること、友達と協力すること、自律というものがとても大切だなと感じる機会になりました。また行動するためには、しっかり見ること、聴くことがとても大事だといくことにも気づきました。「有言実行」という言葉がありますが、責任を持って行動することも、これからは意識して行動していきたいです。また注意されたこともたくさんありました。それを次どう生かすかということが重要であり、後悔するよりも反省することを意識して学校生活を頑張りたいです。



One for all , All for one .

6 組 「集団行動・校長先生のレクリエーションで学んだこと」

私はレクリエーションを通じて仲間の大切さを改めて感じました。そして友達という楽しさを改めて実感しました。そして一番嬉しかったのは、今まで全く話したことのない人達とも仲良くできたことです。また合宿を通じてクラス全員の名前も覚えることが出来ました。そして 6 組のメンバーになって、本当に良かったと思いました。合宿のおかげでクラスの雰囲気も明るくなったので良かったです。

おわりに

3 日間の合宿が成功は多くの人々の熱意や厚意に支えられたものです。感謝の気持ちを忘れないようにしてください。

そして合宿終了翌日の授業日、疲れ等から体調を崩して休む生徒がいなかった貴方達自身の功績も是非とも憶えておきたいものです。